



災害救護という活動

平成30年もまた、自然災害が起こりました。

みなさまからの寄付のおかげで、日本赤十字社静岡県支部から
被災地へ救護班を派遣することができました。

さらなる災害に備え、迅速に対応ができるよう体制を整えています。

あなたの協力が、私たちの原動力です。あなたの想いととも、私たちは「いのち」を救います。

これからも、こころ強いご支援をお願いします。

災害救護

日本赤十字社静岡県支部では、「平成30年7月豪雨災害」の被災地へ。

「救護班」と「こころのケア班」を派遣。

救護班

▶平成30年7月15日(日)～19日(木)
静岡赤十字病院救護班 (広島県呉市安浦地区)

▶平成30年7月24日(火)～28日(土)
浜松赤十字病院救護班 (広島県呉市安浦地区)

こころのケア班

▶平成30年8月1日(水)～6日(月)
県内赤十字施設(静岡県支部、伊豆・引佐・裾野赤十字病院)職員
(広島県呉市)



日本赤十字社静岡県支部では、県内赤十字病院(静岡・浜松・引佐・伊豆・裾野)に救護班、血液センターに血液供給要員を編成して、災害時の救護活動に備えています。また、災害が発生した時に、直ちに被災者の救護にあたるよう、日ごろから災害救護活動に必要な知識や技術の習得と迅速な行動力を養成するため、救護要員に対し訓練及び研修を行っています。



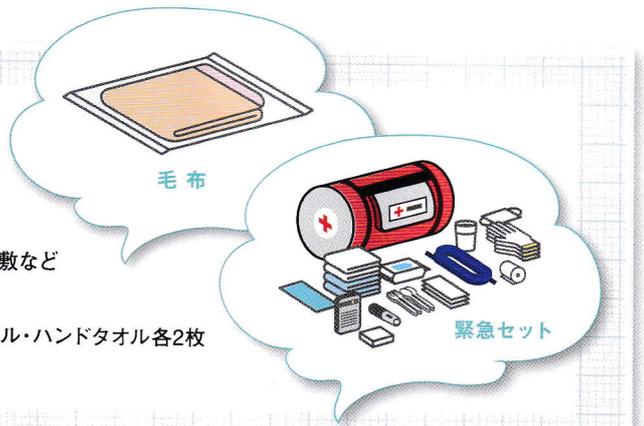
あなた
寄付が
守れる
が

災害救援品の備蓄

災害時に迅速かつ有効な救援対策がとれるよう、災害救援品の備蓄をしています。

- 毛布 …………… パック加工された毛布
- 緊急セット …………… 携帯ラジオ、懐中電灯、風呂敷など
- 下着セット …………… Tシャツ2枚、下着2枚
- タオルセット …………… バスタオル1枚、フェイスタオル・ハンドタオル各2枚

※これら災害救援品を県内各地に備蓄しています



毛布

緊急セット

もし、静岡県で地震などの大規模災害が起きたら…

日本赤十字社では、全国規模で被災地での救護活動に対応する体制を整えています。

静岡県内はもちろん、本社及び他県からも救護班が派遣され救護活動にあたります。

災害救護活動をはじめとした様々な活動において、全国規模の対応ができるのも、静岡県をはじめとした全ての都道府県に赤十字の支部があり、その活動を支えてくださっているみなさまの温かいご支援のおかげです。

炊き出し

日本赤十字社静岡県支部では、災害に備え「炊き出し」の協力体制を整えています。
「おいしい!」をみんなで、地域で。



炊き出しリーダーが活躍。

そして、炊き出し出張講座開始!

地域で炊き出し活動を実施する奉仕団員は、日本赤十字社静岡県支部が行う炊き出しリーダー養成講習会に参加し、炊き出しの技術、実践を学んでいます。また、奉仕団が炊き出しに使用する道具として、市区町に炊き出し器材を配備しています。そして、平成29年度から炊き出し出張講座を開始しました。「炊き出しを学びたい!」という声にこたえるため、自治会・町内会へ炊き出しリーダー等が伺い、炊き出しの技術を広めます!



たの
あるから
いのち」
ある。

講習

日本赤十字社静岡県支部では、危機対応能力を高める講習を行っています。

日常の「守る力」を、あなたに。

災害の有無に関わらず健康で安全な生活を送るための知識と技術を習得。



救急法

心肺蘇生やAEDの使い方、けがの手当のほか、災害時の心得などが学べます。

若年層向け

- 赤十字BLS入門講座



水上安全法

水の事故から生命を守るための知識と技術が学べます。

若年層向け

- 着衣泳
- 水に入らないレスキュー



幼児安全法

子どもを対象にした事故の予防と手当、心肺蘇生やAEDの使い方などが学べます。



健康生活支援講習

高齢の家族や地域の人々に対する、こころとからだのケアについて学べます。

日本赤十字社静岡県支部では、上記講習の中より、小中高校生を対象とした「若年層向け」のプログラムを作成し、普及に努めています。

つづける力をください。

日本赤十字社静岡県支部の活動は、地域のみなさまのために、いのちを救うときのためにあります。

災害救護活動



災害時にいち早く救護班などを派遣し、救護活動を実施。そのため訓練・研修を通じた人材育成、機材整備、救援品備蓄などを行い、常に災害に備えています。

赤十字講習



苦しんでいる人を救いたいという思いに基づき、健康で安全な生活を送る具体的な知識と技術を身につけることを目的に各種講習を行っています。

赤十字ボランティア



日本赤十字社静岡県支部の活動はボランティアのみなさんに支えられています。各種奉仕団があり、災害時だけでなく、日常生活においても特技や技術を活かして活動しています。

青少年赤十字



幼稚園から高等学校までの教育現場で、青少年が実践活動を通して自ら「気づき、考え、実行」できる学びの機会を提供します。

医療事業・看護師養成



大切な命を救うため、救急医療や地域に根ざした医療を行います。そのために必要な赤十字精神をもつ看護師を養成します。

血液事業



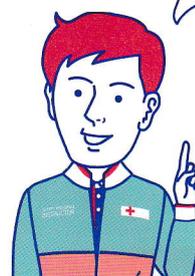
病気やけがの治療などで輸血を必要とする人々を救うため、安全な血液製剤を24時間体制で医療機関へお届けします。

国際活動



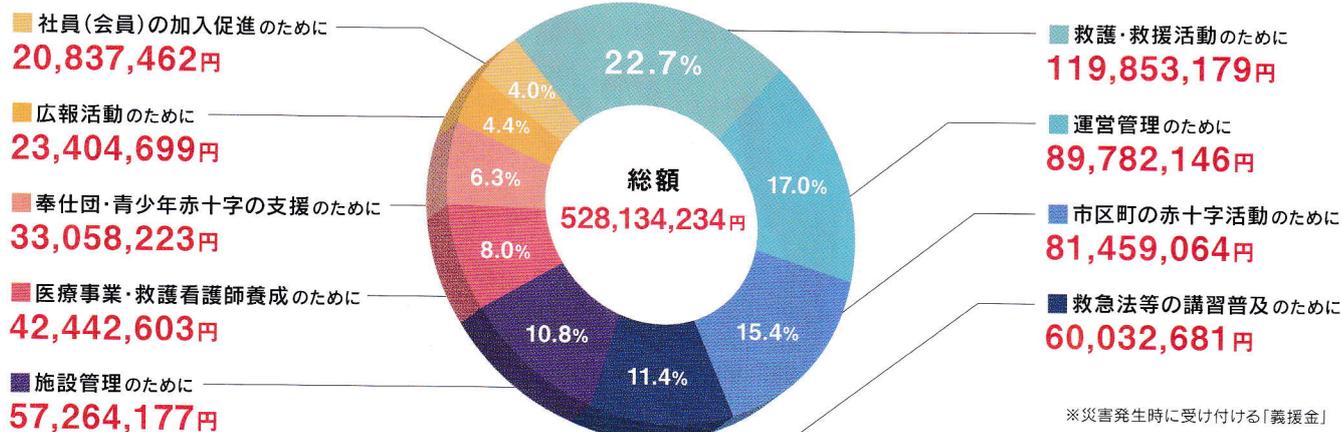
世界的ネットワークを活かして、紛争や自然災害による被災地への緊急支援、中長期的な復興支援を行うための職員派遣や事業を行います。

気持ちを
行動に移すには
どうしても資金が必要です。



活動資金の用途

平成29年度にみなさまからお寄せいただいた活動資金は、下記のとおり活用させていただきました。ご協力ありがとうございました。



※災害発生時に受け付ける「義援金」は、全額が配分委員会を通じて被災した方に届けられます。